平和の尊さを引き継いでいくために

戦争体験をお寄せください

機関紙編集委員会では、戦争を知らない世代に平和を受け継いでいくためにも、戦争体験を募集しています。戦後72年目を迎え、戦争の経験者が少なくなっていく中で戦争体験が語られることも少なくなり、貴重なものとなっています。編集委員会に寄せられるお手紙にも戦争体験は多くの反響があります。

お寄せいただいた戦争体験を冊子にまとめて、形に残していくことも検討しています。

ぜひ読者の皆さんの戦争体験をお寄せください。寄稿される方は800字位を目安にお願いします。

お問い合わせ

友の会事務局（TEL）072-244-8061

寄稿　私の戦争体験〈16〉

「とも」の昨年９月号に掲載した戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

白いエプロン

鳳東町　山本　和子

私は86歳の老人です。

先日、クローゼットの整理をしていたら、未使用の白いエプロンが出てきました。

戦争の頃、私は13歳の少女です。怖かったことは、燃える火の中を母と一緒に、死ぬ時は二人でと母もそう思いながら逃げたのだと思います。運よく助かったのです。

その頃は、戦争の深い事情は分かりませんでしたが、白いエプロンを着て子どもを背負って街を行く人に、「お願いします～」と街角に立って出征する夫の無事を祈り、兄弟、恋人の武運長久を祈って千人針を頼んでいました。

出征する人は、その千人の願いをお腹に巻いて、私たちは白いエプロンに赤いリボンを胸につけて「万歳・万歳」とお送りしたものです。

惜しくも英霊になられてお帰りになる時、男性は国民服、女性は白いエプロンに黒いリボンを付けて町内会の人達が並び、家族の胸に抱かれてお帰りになる姿を涙ながらにお迎えしたものです。

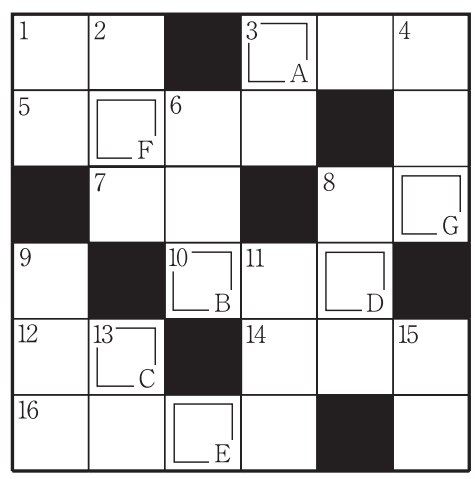
あれから73年、今は食べ物・着る物・生活に必要な物があふれています。

白いエプロンの話など忘れた人、また知らない人の方が多いと思います。

戦争は、人と人の殺し合いです。どんな事があってもしてはならないと思います。

お楽しみクイズ　クロスワードパズル

カギを解き、二重ワクに入る文字をＡＢＣ順に並べてできる言葉は何？



タテのキー

①○○のように口を閉ざす
②隣家の――で類焼
③円周率を示す
④バスケットボールで豪快な――シュート
⑥小さくまるい。――な瞳
⑧むやみに打ちたたく
⑨――、策に溺れる
⑪忘れ難い恨み
⑬ベル。呼び○○
⑮リビングルーム

ヨコのキー

①○○パン、○○折り
③人気動物
⑤ワンペア
⑦おいちょ○○
⑧○○は苦の種
⑩線。スタート――
⑫桃○○三年柿八年
⑭――遺跡、――文明
⑯新しい未使用の品

ア	リ	■	コ	ヤ	ミ
シ	ン	コ	ン	■	ト
■	キ	ウ	■	ケ	ン
バ	■	シ	サ	イ	■
イ	ク	■	イ	カ	ク
ト	ウ	ラ	ク	■	ン

●１月号の答
「クリキントン（栗きんとん）」
●応募数／70通

●応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、
●あて先／〒590－0821　堺市堺区大仙西町6丁184－2　友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにご郵送ください。
●しめきり／2018年4月11日（水）消印有効
●当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品（図書カード500円分）を。賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただくことがあります。ご了承ください。

俳句

初恋の文読み返す弥生かな　手島　光生
愛犬も転んだ芝生花水仙　宮本　清志
山茶花の花じゅうたんを踏まず置く　笹岡野々花

川柳

年を取り薬ふえるわしわふえる　奥田　君江

短歌

友の会マージャンする人達と
句の師匠に恵まれ楽し　手島喜代子

＊句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
＊俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2018年4月11日（水）です。
＊特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

会員さん紹介 ㉛

大浜南支部

長谷川　勝さん

大阪市北区の生まれです。小学生の時は終戦前で、兵庫県に疎開をしていました。疎開先から帰ってきたら、御堂筋は瓦礫の山で、地下鉄を除いて電車はすべて不通でした。

食事は芋やすいとんで、水の中にメリケン粉をたらしたものでした。

大変でしたが、しんどかった、つらかったというのは、まわりもみんな同じだったので感じませんでした。

仕事は最初に食糧の卸問屋に勤め、その後運送業をしていました。堺には、35歳のときに運送の仕事の関係できました。堺に住んで40年ぐらいになります。

友の会とのきっかけは、趣味が水泳と読書で、プールで達さんと出会ったことです。支部の活動は、年だからすることもなく、やらせてもらっているという思いでしています。いずれ、支部の人たちとグループに分かれて、地域をまわっていきたいと思っています。

（文・写真　機関紙編集部）

編集後記

2月4日の名護市長選挙は残念な結果となりました。

選挙には、辺野古の新基地建設建設に反対し、平和を守るたたかいのために、全国から支援が入り、医療・福祉・まちづくりの会としてもこの名護市長選挙への支援に参加しました。

選挙支援に参加された方、カンパなどのご協力をいただいた方などご支援ありがとうございました。

今後、政府は一層の押し付けをし、地方自治の破壊と平和を壊す動きをしてくるでしょう。

私たちは、引き続き平和を守る運動と辺野古新基地建設を断念させる取り組みをおこなっていきます。ともに力を合わせていきましょう。

（奥村）